

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立柳沢中学校

●全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	学習指導要領の内容(知識及び技能)	65.9	思考力、判断力、表現力の項目においては全国、都の平均を大きく上回っているが、その中で書く項目が都の平均を0.3ポイント下回る。全体的には都、全国の平均を上回った。今後も、基礎基本の定着を進めていく。	漢字を書く、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す、根拠を明確にして考えて書く等で、全国、都の平均を下回った。古典の文章の指導や古典作品を楽しむための本を紹介する活動などをしていく。またか漢字を文脈に即して適切につかえるように指導する。
	学習指導要領の内容(思考判断表現)	66.5		
	問題形式 短答式	48.9		
算数	学習指導要領の領域 B図形	37.5	A数と式、C関数については、全国及び都の平均を上回った。習熟度別少人数指導の取組の成果と推定できる。	B図形では都の平均を、Dデータの活用では全国及び都の平均を下回った。図形やデータの活用についての基本的な知識の理解や、与えられた情報を適切に読み取り、考察するなどの取組を繰り返し行っていく必要がある。
	学習指導要領の領域 Dデータの活用	43.9		
	問題形式 短答式	65.3		
英語	学習指導要領の領域 書くこと	28.4	全国学習状況調査の結果から、聞くこと、読むこと、書くことの領域において、全国の平均を上回っている。また、観点別においても同様である。習熟度別少人数指導の取組の成果と推定できる。	日常的な話題について、自分の立場に置き変えて答える問題や与えられた語句を適切な形に変えたり、不足している語句を補ったりして答える問題に課題が見られた。文法知識の基礎・基本の確実な定着を図るために、反復練習を行うことや生徒の日常生活に関連した言語活動の設定を取り入れ授業改善に努めていく。
	学習指導要領の領域 読むこと	53.6		
	評価の観点 知識・技能	56.4		
	評価の観点 思考・判断・表現	43.8		